

**令和2年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
都市ブランド戦略の推進	推進体制の整備と連携強化		1 シティプロモーション推進体制整備事業

事務事業名		シティプロモーション推進体制整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進課	
	政策	4 誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり						担当係	ブランド戦略係	担当課長名	新里 昌弘	
	施策	1 都市ブランド戦略の推進					新規事業・継続事業			継続事業		
	基本事業	3 推進体制の整備と連携強化					実施計画事業・一般事業			実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	1303	一般	2	1	7	シティプロモーション推進体制整備事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成27年度～		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業			任意的事業		
							実施方法			直営		
							事業分類			その他市民に対する事業		
							リーディングプロジェクト			該当		
							市長市政公約			2-①-1		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)							
<p>効果的なシティプロモーションを行うために必要となる体制づくりを進めるものである。</p> <p>庁内においては、市長を委員長とする佐野市シティプロモーション推進本部会議と本部会議に設置する専門チームを、庁外においては民間委員で構成される佐野市シティプロモーション懇談会を開催し各種事業に対する意見交換、評価、企画等を行う。</p> <p>また、他自治体における相互PRを積極的に実施するために、さのまるや親善都市等とのつながりを強化するものである。</p>					<p>・佐野市シティプロモーション推進本部による庁内の進行管理</p> <p>・シティプロモーション自治体等連絡協議会への参画</p> <p>・(株)JTBからの派遣職員による各部連携した横断的な取組</p> <p>・新製品の開発やPRなどを通じた、市民や関係団体との連携</p> <p>・その他推進体制整備に関すること</p>							
活動指標					単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)		
佐野市シティプロモーション推進本部 会議開催回数					回	2	3	2	1	3		
佐野市シティプロモーション懇談会 会議開催回数					回	0	2	2	0	3		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
目的	①職員 ②市民 ③他自治体、企業、団体、大学等					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
	職員					職員	人	795	799	797	781	797
	市民					市民	人	120,018	119,348	118,450	117,702	113,000
	佐野市シティプロモーション懇談会 参加団体					団体	0	12	12	12	12	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
市全体の一体感を持続できるよう、プロモーションを推進する体制を構築する。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
シティプロモーション関連ホームページ年間アクセス数					件	336,877	315,880	370,090	229,284	338,500		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
連携を強化し、一丸となって本市の魅力PRする。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
「さのまるサポーターズ」企業・団体・プレミアム個人会員数					会員	455	417	390	373	560		
「さのまるサポーターズ」個人会員数					会員	1,241	1,475	1,639	1,751	2,600		
自治体間交流回数					回	23	32	34	15	50		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	10,728	10,649	9,348	7,702	9,305			
	事業費計(A)	千円	10,728	10,649	9,348	7,702	9,305			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	0	報償費	25	報償費	25	報償費	0
			旅費	140	旅費	39	旅費	42	旅費	0
需用費			7	需用費	0	需用費	0	需用費	3	
役員費			31	役員費	35	役員費	31	役員費	32	
負担金、補助及び交付金			10,550	負担金、補助及び交付金	10,550	負担金、補助及び交付金	9,250	負担金、補助及び交付金	7,667	
負担金、補助及び交付金				負担金、補助及び交付金		負担金、補助及び交付金		負担金、補助及び交付金		
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200				
人件費計(B)	千円	4,579	4,585	4,578	4,364	4,364				
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,307	15,234	13,926	12,066	13,669				

事務事業名	シティプロモーション推進体制整備事業	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進課	担当係	ブランド戦略係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	少子・高齢化を背景に自治体の活力維持を目指した取組が全国的に展開されている。このような状況の中、「さのまる」が2013年ゆるキャラグランプリで優勝したことを受け、「さのまる」を活用した積極的な本市の魅力発信を行うため、平成26年度「佐野市シティプロモーション推進基本計画」を策定し、総合的・効果的なシティプロモーションの推進を図るための体制を整備する必要が生じた
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国的な少子高齢化を背景に、地方公共団体が活力を維持するための活動は益々激しさを増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	積極的に佐野市のPRを行うべきであり、庁内だけでなく、市民・団体等と連携してプロモーションを行うことが必要であるとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	全庁的なプロモーション実施のため、市シティプロモーション推進本部会議および専門チームの定期開催を予定したが、コロナウイルス感染症対策のため予定通り実施できなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	基本事業に「推進体制の整備」が位置づけられており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民・関係団体等と連携した体制を構築するためには、市がシティプロモーション推進戦略に基づき先導して調整を進める必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	効果的なシティプロモーションを行うためには、多様な主体による情報発信ができる体制が必要であり、そのために様々な対象(市民・事業者・他自治体等)と連携を図る必要があり、対象・意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	庁内の情報を常に把握できるよう、広報主任者との連携を深めることで、発信すべき魅力(コンテンツ)を増やすことができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	計画策定のための委員謝金等、必要最小限の予算であり、これ以上の削減余地はない。人件費についても、直営での計画策定、市主催の会議運営に係るものであり削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	シティプロモーションを行うための体制整備であり、直接的な受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	シティプロモーション情報発信事業が終了すれば、本事業を終了することができる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①市民・団体等との連携の強化 ②新しい連携先の開拓	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	①②		維持		×	低下	×	×	密な連携のための定期的な情報交換と、新しい連携先確保のためのリサーチを行う。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	①②																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	